

【活動の主題】 地域とともにある学校コミュニティスクール竜王小学校の新たな試み

【副題】 ～地域に開かれたクラブ活動～

【学校名】 竜王町立竜王小学校

1 本校の概要

平成 26 年に学校運営協議会が設置され、「地域とともにある学校」を目指し、地域学校協働本部とともに、地域ボランティアを活用した教育課程の編成に取り組んできた。学習指導要領に「地域に開かれた教育課程」が盛り込まれ、教員の働き方改革が求められる今、地域人材の活用の手立てを模索してきた。

一方、学習指導要領の特別活動に位置づけられるクラブ活動は、「同好の友人と共通の興味・関心を追求することから、児童が学校を離れて地域においても、クラブ活動の経験を生かして活動するなど、地域社会の人材や施設、様々な活動との連携を図った地域における活動として展開されることも考えられる。」としている。

これらのことから、令和 6 年度に「地域に開かれたクラブ活動」として、カリキュラムをマネジメントすることとした。地域の方々とともにクラブ活動を行うことにより子どもたちは、地域の方々に教えていただけることに感謝の気持ちをもつことができているし、地域の方々には子どもたちと触れ合う機会や子どもたちの役に立てるという生きがいにもしてもらっている。

2 取り組んだ内容

(1) 地域に開かれたクラブ活動

～地域人材を指導者に～

これまで、クラブ活動は 6 年生の自治運営や自主性、創造性を学ぶ機会として位置付けていた。6 年生が主体となって、クラブ活動の内容や設置数、運営などを任せることに主体を置いていた。しかし、クラブ活動以外にもこれらを育成する機会が多いこと、6 年生担任の負担が大きいこと、取り組む時間が短く、十分な成果が得られないなど課題が山積していた。

そこで、クラブ活動の指導を地域人材に求め、教員の補助として位置付けることで、多様なクラブ活動が設置でき、かつ、子どもたちの生涯学習の基盤づくりにつながること、ひいては教員の負担軽減にもつながると考えた。

学習指導要領の趣旨も踏まえながら「地域に開かれた教育課程」の一つと位置付けた。スポーツ少年団の関係者、公民館の講座や同好会で活躍されている方、



地域学校協働本部にボランティア登録されている方々等を講師に、12 クラブが立ち上がった。地域の方にお世話になってできたクラブは「野球」「卓球」「バーボール」「グラウンドゴルフ」「けん玉」「パソコン」「折り紙」「ちぎり絵」「料理」「手芸」「竹工作」である。材料や道具はおおよそ学校の備品で取り揃えているが、「グラウンドゴルフ」の用具については準備がなかったため、本事業補助金を活用して用具をそろえた。グラウンドゴルフクラブで興味を持った子どもたちが、地域のグラウンドゴルフ大会に出場して祖父母と一緒に楽しんでいる。

(2) 親子グラウンドゴルフ大会の計画

本校は、今年度創立 150 周年を迎える。その記念事業として 150 周年記念親子グラウンドゴルフ大会を学校運営協議会のお力を借り 10 月下旬に計画した。しかし、延期日も含めて雨天となり残念ながら今年度は中止となった。来年度は本校が移転することもあり、開校記念事業として計画していきたい。

3 活動の成果

地域の方にお手伝いいただくことで昨年度より多くのクラブを立ち上げることができた。これにより、子どもたちには選択の幅が広がり、さらに、今まで体験できなかったクラブ活動ができ、興味関心も広げることができた。また、学期ごとにクラブを選択することで、より多くの体験をすることができるようになった。このことは、キャリア教育にもつなげていくことができる。そして、日ごろから取り組んでおられる方の指導を受けることができ、充実した活動が提供できるとともに、教員にとっても、働き方改革にもつながる取組となった。子どもたちは、地域の方々に教えていただけることに感謝の気持ちをもつことができている。このことは、道徳教育につなげていきたい。

クラブ活動で体験したことをきっかけに地域でのイベントに参加した子もいる。また、お手伝いいただいているボランティアさん方も子どもたちとのふれあいを楽しんでいてくださる。このことは、地域とともにある学校コミュニティスクール竜王小学校のまさに目指す姿ではないだろうかと考える。